

総合交通メールマガジン

第83号

平成27年10月1日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）



目次

Topics

- ◆行政と地域住民の連携により高齢者の外出を支援する取組について
(福山市 保健福祉局 長寿社会応援部 高齢者支援課)

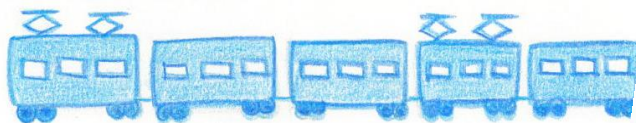
総合交通体系グループだより

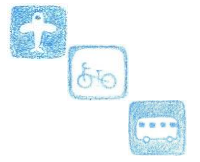
- ◆オープンデータを活用した歩行者移動支援の取組に関するガイドライン公表
～民間等による多様なサービス展開に向けた取組手順等を解説～
(国土交通省 政策統括官付)
- ◆全国幹線旅客純流動調査の紹介
(国土交通省 総合政策局 総務課)
- ◆メルマガにアンケート機能を追加しました
(国土交通省 総合政策局 総務課)

総合交通メールマガジンとは

Information

- ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！





Topics

◆行政と地域住民の連携により高齢者の外出を支援する取組について

(福山市 保健福祉局 長寿社会応援部 高齢者支援課)

広島県福山市では、全国の他の都市と同様、高齢化の進展により高齢者福祉に係る事業費が年々増加する中、「福山市高齢者福祉事業のあり方検討会」を設置し、関係者の意見を聞きながら高齢者福祉事業の見直しを進めてきました。

高齢者の社会参加を支援するため1976年度から75歳以上の高齢者に1人3,000円分のバス・タクシー乗車券を支給する「老人交通費助成事業」を実施してきましたが、市民と協働して、より効率的かつ効果的な事業を構築するため、「老人交通費助成事業」を縮小すると同時に新たに「高齢者おでかけ支援事業」に取り組んできました。

「高齢者おでかけ支援事業」は、小学校区を単位として運転ボランティアが高齢者の方を無償で送迎する事業で、自治会等の地域団体からの運行計画等の提案を受け、福山市が車両の運行管理業務を地域団体に委託しています。市が車両調達や運行管理に係る経費を負担することにより、地域による取組を支援しています。また、地域団体が日々の運行管理を行うことにより、高齢者のニーズに対応したコース・乗降場所の見直しや学区行事に合わせた臨時運行等のきめ細かなサービスを可能にしています。

本稿で紹介する福山市の取組は、公共交通では十分にカバーできない高齢者の移動ニーズを行政と地域住民が連携して支える仕組みとして、大きな参考になると思われます。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1509fukuyamashi.pdf>

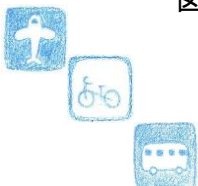


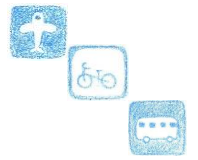
総合交通体系グループだより

◆オープンデータを活用した歩行者移動支援の取組に関するガイドライン公表 ～民間等による多様なサービス展開に向けた取組手順等を解説～

(国土交通省 政策統括官付)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会も控え、国土交通省では、訪日外国人旅行者や高齢者、障害者等も含め誰もがストレスなく自由に活動ができるユニバーサル社会の構築に向け、ICT(情報通信技術)を活用した歩行者移動支援サービスの普及促進を図っています。





昨年度設立した「ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」（参考1）において今年4月にとりまとめられた提言（参考2：提言のポイント、提言 URL <http://www.mlit.go.jp/common/001087780.pdf>）では、オープンデータの考え方を積極的に推進することや、データを多くの人々が自由に利用して様々な歩行者移動支援サービスを提供すること等により（参考3：オープンデータの活用によるサービス出現のイメージ）、歩行者の移動を社会全体で支え合うような環境を整えていくことが重要であると指摘しています。

これを踏まえた取組の一環として、今回、主に市町村向けの「オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの取組に関するガイドライン」（概要：別添、本体：[URL <http://www.mlit.go.jp/common/001105111.pdf>](http://www.mlit.go.jp/common/001105111.pdf)）を作成しました。

本ガイドラインでは、市町村がデータ保有者やデータ利用者等の関係各者と連携して、民間等の様々な主体によるサービスの展開に向け、移動に役立つデータのリストアップからその収集・作成、公開、活用に向けた取組に至るまでの、各段階で必要な作業手順等について解説しています。

国土交通省では引き続き、2020年を念頭に置きつつ、全国各地においてより多くの人々がそれぞれのニーズに合った歩行者移動支援サービスが受けられるよう、オープンデータの推進等その環境整備に向けた取組を積極的に推進してまいります（参考4：2020年目処に実現するサービスのイメージ）。

《「ガイドライン公表」に関する発表資料はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1509guidelines.pdf>

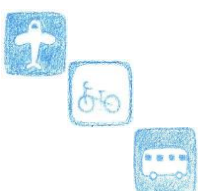
《別添および参考1~4はこちらから↓》

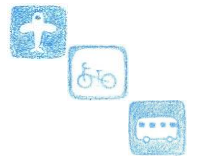
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1509sankou.pdf>

◆全国幹線旅客純流動調査の紹介

（国土交通省 総合政策局 総務課）

国土交通省総合政策局総務課では、幹線交通機関の利用状況を把握するため、交通機関の利用者を対象に「全国幹線旅客純流動調査」を実施しています。本調査は、1990（平成2）年度の開始以来、5年に1回の頻度で実施しており、2015（平成27）年度は第6回調査を実施します。





1. 調査の概要

- ・ 幹線交通機関（航空、鉄道、幹線旅客船、幹線バス、乗用車等）を利用して都道府県を越える旅客流動を調査対象としています。
- ・ 幹線交通機関の輸送実績を整理するような他の統計調査とは異なり、個々の旅客に着目することでその旅行行動全体を捉えることが可能な調査です。旅客の出発地・目的地、旅行目的や旅客属性などを把握することができます。
- ・ 国、地方自治体、交通事業者、研究機関等の多くの主体において、幹線交通機関の実態把握、将来交通需要予測、経済効果計測などに広く活用されています。

2. 公表資料

- ・ 調査の詳細や集計表については、下記URLにてご確認・ダウンロードいただけます。
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000016.html
- ・ 本年度に実施をする第6回調査は、10月18日（日）及び10月21日（水）の2日間を予定しており、調査結果の公表は平成29年秋頃を予定しています。
※上記の調査日は、航空、鉄道、幹線旅客船、幹線バスが該当します。
※天候不順等により予備日に調査を実施することがあります。

なお、本調査に関するご不明点やデータのご利用等に関するお問い合わせは、以下のメールアドレス宛てにご連絡下さい。

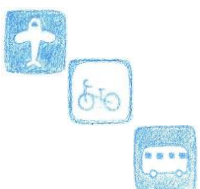
E-mail : hqt-soukou@ml.mlit.go.jp

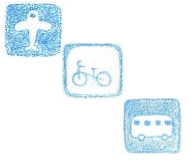
◆メルマガにアンケート機能を追加しました

（国土交通省 総合政策局 総務課）

国土交通省総合政策局総務課では、皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、総合交通メールマガジンの内容の充実を図るため、本メルマガの Information にアンケート機能を追加しました。

これまで、所定様式をダウンロードし、ご意見を記載したファイルをメールでお送り頂いておりましたが、ダウンロードや入力の手間を省くため、簡単なチェック形式としています。是非とも、ご協力をお願い致します。詳しくは、Information をご覧ください。





総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として、月一回を目処に発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者となっております。

当メールマガジンで紹介させていただく記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



Information

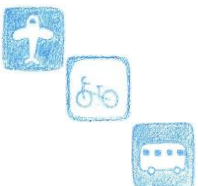
◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、ご意見等頂けると幸いです。下記フォームに入力の上、「アンケートを送信する」ボタンを押してください。ご協力のほどよろしくお願い致します。なお、パソコンの環境等により不具合が生じた場合は、hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jpまでご連絡頂きますと幸いです。

Q. 今回のメールマガジンで配信した記事は関心のある内容でしたか？

記事		非常に 関心のある内容	関心のある内容	あまり 関心のない内容
Topics	行政と地域住民の連携により高齢者の外出を支援する取組について			
総合交通体系 グループだよ	オープンデータを活用した歩行者移動支援の取組に関するガイドライン公表 ～民間等による多様なサービス展開に向けた取組手順等を解説～			
	全国幹線旅客純流動調査の紹介			

Q. 今後のメールマガジンでどのような情報を配信してほしいですか？





メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎しております。変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当課では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することで、各地域にノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。また、イベント案内や、勉強会、講演会、セミナーなどをご紹介頂ければ、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方でも、耳より情報でも結構です。(情報提供はこちらまで hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

- ・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 樋口 尚弘

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：hqt-soukou-mm@ml.mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>



※ 総合交通メールマガジンのメールアドレスが変わりました。

